

耐震精密診断調査結果報告

新耐震基準満たす！！

2014年度の総会において議決され、進められていた建物の耐震精密診断の結果が出ました。

7月20日（月）集会所において説明会が開催され、組合員133名の出席がありました。

■耐震診断の目的

当団地は1979年竣工の旧耐震基準の建物であり、新耐震基準の「建物内の人間の安全を確保することを主眼において、震度6以上の地震で倒れない建物」の性能を有しているか否かを見極めることを目的として建物の耐震精密診断を行いました。

■耐震診断の結果

耐震性能の判定指標（後記で解説）として「 I_s が0.6以上」、「 C_{TUSD} が0.3以上」であれば新耐震基準を満たしています。

当団地の住居棟および集会所、受水槽、ポンプ室は全ての建物が新耐震基準を満たしていることが証明され、耐震診断結果は評定書として受領しました。

耐震診断結果の概要は別表のとおりです。

■ I_s 値とは

建物の地震に対する強さを表す構造耐震指標

■ C_{TUSD} 値とは

建物の形状等を考慮して表す耐震性能指標

■耐震対象建物の診断結果

耐震診断対象の建物は各ブロック（A、B、C、D、E、F）から構造計算上地震に対して不利である横に長い建物を選び、さらに重要施設である集会所、ポンプ室、受水槽室を含め9棟の診断をしました。

耐震診断結果の概要（X方向→建物の短辺方向 Y方向→建物の長辺方向）

耐震診断対象建物	I_s 値		C_{TUSD} 値		耐震補強の 必要性	評定書取得日
	X方向	Y方向	X方向	Y方向		
Aブロック6号棟	0.85	0.99			不必要	H27. 3. 4
Bブロック3号棟	0.82	1.03			不必要	H27. 3. 5
Cブロック9号棟	0.63	0.87	0.64	0.88	不必要	H27. 6. 3
Dブロック17号棟	0.61	0.60	0.77	0.30	不必要	H27. 5. 19
Eブロック28号棟	0.63	0.71	0.50	0.56	不必要	H27. 4. 14
Fブロック31号棟	1.67	3.48	1.18	3.52	不必要	H27. 3. 5
集会所 30号棟	2.10	4.47	2.12	4.52	不必要	H27. 3. 5
ポンプ室	2.29	3.59	2.31	3.63	不必要	H27. 3. 5
受水槽室	2.59	1.38			不必要	H27. 3. 5

Aブロック、Bブロックおよび受水槽の C_{TUSD} 値は建物の構造上、計算対象外
※上記の通りの数値で第三者機関の評定書を頂きました。

■「耐震基準適合認定通知書」

平成27年8月10日付認定通知書を受領しました。

■耐震基準適合認定の証明が有れば税制優遇措置が受けられます。

1. 住宅ローン減税
2. 登録免許税の軽減
3. 不動産取得税の軽減
4. 地震保険の保険料が10%割引される

※証明書が必要な方は管理事務所を通じ建築士より発行します。

■減災対策

建物倒壊の恐れはありませんが、地震が発生した時にできるだけ災害が減らせるように各ご家庭で家具等の転倒防止措置を行ってください。

■その他

さらに詳しくお知りになりたい方は資料の閲覧が出来ますので、管理事務所へ申し出て下さい。